

第5・6学年 国語科学習指導案

日時 平成18年9月8日(金)5校時
児童 5年生 男子1名・女子1名
6年生 男子1名 計3名
授業者 鈴木 永輝

1 単元名(教材名)

第5学年 目的に応じた伝え方を考えよう「ニュース番組作りの現場から」

第6学年 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう「平和のとりでを築く」

2 単元について

(1) 教材観

5・6年生の読むことの目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。

この目標を受けて、5年生の教材「ニュース番組作りの現場から」は、文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深めることをねらいとする。

また、この文章は、時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方などがわかりやすく整理されている。その点で本教材は、ニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列にそって大事な事柄に注意して読み取る文章としても適している。

6年生の教材「平和のとりでを築く」は、文章の構成や内容から要旨をとらえるとともに、「原爆ドーム」が世界遺産となった意味について自分なりの考えをもつことをねらいとする。

また、この文章は、原子爆弾によって「傷だらけ」となった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べている。日本人としてぜひ知っておきたい史実と、それが「世界」の「遺産」となった意味についての筆者の考えをていねいに読み取らせたい。

(2) 児童観

5年生児童は、これまでに、「サクラソウとトラマルハナバチ」・「千年の釘にいどむ」などの説明文の読み取りを通して、重要語句を手がかりにして意味段落ごとに文図をつくり、書かれてあることをまとめていく学習をしてきた。文章全体の要旨をつかむことも、読み取ったことをできるかぎり自分の言葉でまとめようという意欲が見られる。

6年生児童は、これまでに、「生き物はつながりの中に」・「人類よ、宇宙人になれ（教育出版）」などの説明文の読み取りを通して、重要語句を見つけて意味段落ごとに自分なりに文図をまとめ、書かれてあることをつかむ学習をしてきた。文章全体の要旨をつかむことも、意味段落の要約を生かしながらできるかぎり自分の言葉でまとめようという意欲が見られる。

（3）指導観

第5学年の指導では、意味段落に書いてあることをより正確にとらえさせたい。そのために、重要語句や文の構成を分析しながら読み進め、場面全体の内容を文図にまとめる力をつけさせるとともに、読み取ってわかったことを的確に書きまとめる力をつけさせたい。取材から撮影、編集などの流れが放送の何日前かということにも目をつけさせながら、時間の流れとニュース番組作りの進め方の順序を的確にとらえさせていく。

また、意味段落の役割や文章の構成についてもとらえさせ、文章全体のテーマや要旨をとらえさせることにつなげる。

最後には、自分たちが伝えたいこと・相手が知りたいことなどを考え、発信する力をつけさせていきたい。

本時では、読み取りの視点を「撮影・編集・放送用原稿の工夫が書いてあるところ」とし、そこに着目させて読みを深めさせる。つかむ段階の音読で、学習場面をおおまかにとらえさせる。しらべる段階の微音読で、自分なりにニュース番組作りの過程で工夫しているところを見つけさせる。まとめる段階では、自分たちが学習した内容や感想を6年生に伝えるように音読発表させたい。

第6学年の指導では、意味段落ごとに書いてあることを自分で正確につかむ力をつけさせたい。そのために、重要語句をとらえることや文の構成を自分なりに分析できる力をつけさせる。また、文図を簡潔にまとめる力をつけさせ、意味段落で読み取ったことが明確に表せるようにしていきたい。

また、それらのことを通して、文章全体の構成をつかみ、テーマや要旨をまとめることにつなげていく。

最後には、「平和」についてさらに調べたり考えたりして、自分の考えを明確に表現する力をつけさせていきたい。

本時では、読み取りの視点を「広島での動き」・「筆者が感じたこと」とし、そこに着目させて読みを深めさせる。つかむ段階の微音読で、学習場面をおおまかにとらえさせ、もう一度音読して自分の書き込んだことを検討させる。しらべる段階では形式段落を一つずつ音読させ、大事な言葉を確認する。まとめる段階では、自分が学習した内容や感想を5年生に伝えるように音読発表させたい。

3 単元の目標と評価規準

5年生

目標	文章構成をつかみ、要旨をとらえて、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。
関心・意欲・態度	文章構成を的確につかみ、意欲的にテーマや要旨をとらえようとする。
読むこと	番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取る。 自分たちが発信するために必要な事柄を時間の順序にしたがって段落ごとに読み取る。
言語事項	文章の構成や意味段落の役割について理解する。

6年生

目標	文章の構成や内容から要旨をとらえるとともに、自分なりの考えをもつ。
関心・意欲・態度	文章全体の構成をつかみ、意欲的にテーマや要旨をまとめようとしている。
読むこと	「平和のとりでを築く」の文章構成を把握し、内容を的確に読んで、この文章のテーマや要旨をまとめる。 筆者の考えをまとめ、自分はどのように考えるかをまとめる。
言語事項	文章全体のおおまかな構成と、部分の役割を理解する。

4 指導計画

5年生（14時間）

第1次	単元全体を見通し、学習計画を立てる。（2時間） 教材文を範読し、おおまかに内容をとらえる。 新出漢字を学習し、難しい言葉について調べる。 形式段落・意味段落に分け、読み取りの課題をつくる。
第2次	意味段落ごとの内容を的確に読み取りながら全体の構成をつかみ、要旨をとらえる。（5時間） 段落を読み、話題提示文をとらえる。 ～ 段落を読み、話題選び・企画会議・取材の様子を具体的にとらえる。 ～ 段落を読み、撮影・編集・原稿作りの流れをとらえる。（本時） 段落を読み、文章全体のテーマや要旨をとらえる。

第3次	<p>情報を発信する。(7時間)</p> <p>前時までの学習と、「工夫して発信しよう」から、情報発信までの手順を確認する。</p> <p>企画会議を開く。</p> <p>取材をする。</p> <p>「編集して伝える」を参考に、編集する。</p> <p>情報を発信し、発信側の意図と受信側の感想を交流する会を開く。</p> <p>自己評価し、情報の発信や受信について話し合う。</p>
-----	--

6年生(14時間)

第1次	<p>単元全体を見通し、学習計画を立てる。(2時間)</p> <p>教材文を範読し、おおまかに内容をとらえる。</p> <p>新出漢字を学習し、難しい言葉について調べる。</p> <p>形式段落・意味段落に分け、読み取りの課題をつくる。</p>
第2次	<p>意味段落ごとの内容を的確に読み取りながら全体の構成をつかみ、要旨をまとめる。(5時間)</p> <p>段落を読み、話題提示文をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ～ 段落を読み、原爆ドームがたどった歴史をとらえる。 ～ 段落を読み、原爆ドームが世界遺産になるまでの動きをとらえる。 <p>(本時)</p> <p>段落を読み、文章全体のテーマや要旨をまとめる。</p>
第3次	<p>自分の考えを発信する。(7時間)</p> <p>筆者の伝えたいことをもとに、戦争や平和について考え、話し合う。</p> <p>発信する目的と相手、課題、方法を決める。</p> <p>調べることを具体化する。</p> <p>材料を集める。</p> <p>自分の考えを書きまとめ、推敲する。</p> <p>自分の考えを発信する。</p> <p>「インターネットと学習」を読んで内容を確かめ、この単元での学習を振り返る。</p>

5 本時の指導

(1) 目標と評価規準

5年生

目 標		
撮影・編集・放送用原稿などの工夫について読み取る。		
評価規準	具体の評価規準	
撮影・編集・放送用原稿の工夫をまとめることができる。	十分満足	おおむね満足
	撮影・編集・放送用原稿の工夫を的確にまとめることができる。	撮影・編集・放送用原稿の工夫が書かれてある部分を見つけることができる。

6年生

目 標		
原爆ドームが世界遺産に指定されるまでの動きに対する筆者の思いを読み取る。		
評価規準	具体の評価規準	
原爆ドームが世界遺産に指定されるまでの動きに対する筆者の思いをまとめることができる。	十分満足	おおむね満足
	原爆ドームが世界遺産に指定されるまでの動きに対する筆者の思いを的確に書きまとめることができる。	原爆ドームが世界遺産に指定されるまでの動きに対する筆者の思いが書かれてあるところを見つけることができる。

(2) 子どもの実態と支援

(読)「読むこと」 文章に書かれてあることの実事や考えを具体的に読み取る力

児童	T(5年) (読)	A(5年) (読)	S(6年) (読)
実態	文や文章に書かれてあることを的確にとらえることができるが、大事な言葉を見つけて要約をまとめることには時間がかかる。	文章の内容を感覚的に理解する力をもっているが、「さつえい」「編集」「放送用原稿」それぞれの工夫についての的確に書きまとめるところまではなかなか難しい。	自分なりに文章を分析し、簡潔ではないが文図でまとめることができる。大事な言葉をたくさん見つけるが、なかなかしぼり切れない。
支援	「さつえい」「編集」「放送用原稿」の工夫が書いてある文に着目させながら意味段落の要約をまとめさせる。	それぞれの工夫が書いてある文を取り上げて音読させることで、意味段落の要約をとらえさせる。	段落を一つずつ音読させ、大事な言葉を教師と一緒に確かめてしぼっていく。そして、「広島での動き」と「筆者が感じたこと」の要約をまとめさせる。

(3) 展開

学年	5 学 年		
段階	指導上の留意点	学習活動（主発問）	形式
つ か む 8分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの流れを簡単に振り返る。 ・それぞれの工夫が書いてある部分に着目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を確認する。 さつえい・編集・放送用原稿の工夫について読み取ろう。 ・段落を音読し、本時の学習場面をおおまかにつかむ。 さつえい・編集・放送用原稿づくりでは、どんな工夫をしているのでしょうか？ 	
し ら べ る 12分	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの視点「撮影・編集・放送用原稿の工夫が書いてあるところ」 ・大事な文に線を引かせ、その理由も書き込ませる。 ・文章の構成や書かれてある内容を意識して音読させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題に取り組む。 ・段落を微音読して、自分なりに撮影の工夫が書いてある文をつかむ。 ・段落に書き込みをする。 ・段落を微音読して、自分なりに編集の工夫が書いてある文をつかむ。 ・段落に書き込みをする。 ・段落を微音読して、自分なりに放送用原稿の工夫が書いてある文をつかむ。 ・段落に書き込みをする。 ・それぞれ教科書に書き込み、お互いに確かめ合う。 	
た し か め る 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの重点になるところにしばって評価する。 ・子どもの発言を生かしながら文図をつくる。 ・要約や感想を自分なりの言葉でまとめさせる。 ・子どもたち同士で検討させ、発表の分担もさせておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 解決した内容を確認する。 ・教科書の書き込みを発表して評価する。 ・大事な文を手がかりに文図を教師と共に作る。 ・要約や感想を書く。 さつえいでは、目で見てわかるような工夫をする。 編集では、六時間分のテープを八分間分にまとめる工夫をする。 放送用原稿では、初めに結論を言い、理由を後から述べる工夫をする。 ・文図の説明と、要約・感想を発表できるように音読練習をしておく。 	
ま と め る 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの学年で今日学習したことを交流させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめをする。 ・本時の学習でまとめられた内容を音読して発表し、6年生に伝える。 ・感想を発表する。 	

学年	6 学 年		
形式	学習活動（ 主発問）	指導上の留意点	段階
	<p>段落を<u>微音読</u>して、本時の学習場面をおおまかにつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き込みをする。 <p>段落を音読して、自分の書き込みをもう一度検討する。</p> <p>課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>原爆ドームが世界遺産になるまでの動きに対する筆者の感じたことを読み取ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のために大事なところを意識して読ませる。 ・広島での市民中心の活動と筆者の感じたことがわかる言葉を見つけさせる。 ・より大事な言葉をしばって考えさせる。 ・前時までのながれを簡単に振り返る。 	<p>つ か む</p> <p>10分</p>
	<p>学習課題に取り組む。</p> <p>筆者は原爆ドームが世界遺産に決定するまでにどんなことを感じたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落を一つずつ音読し、書き込みをしたことを発表する。 ・教師と一緒に大事な言葉確かめて文を分析していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>読み取りの視点</u> 「広島での動き」 「筆者が感じたこと」 ・読み取りの視点を意識して音読させる。 ・子どもの的確な書き込みの内容を評価する。 	<p>し ら べ る</p> <p>10分</p>
	<p>解決した内容確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉を手がかりに文図を自分で作り、黒板に板書する。 ・要約や感想を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>広島での原爆ドームを世界遺産にしようという動きは全国に広がっていった。</p> <p>筆者は世界に認められるか不安を覚えたが、決定を知ったとき、世界の人々の平和を求める強い気持ちを改めて感じた。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・文図の説明と、要約と感想が5年生に伝わるように音読練習しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前段階の文を分析したことをもとに自分でまとめさせる。 ・要約や感想を自分なりの言葉でまとめさせる。 ・課題解決したことが相手に伝わるような読み方を意識させる。 	<p>た し か め る</p> <p>20分</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめをする。 ・本時の学習でまとめられた内容を音読して発表し、5年生に伝える。 ・感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの学年で今日学習したことを交流させる。 	<p>ま と め る</p> <p>5分</p>

(4) 板書計画

< 5 年生 >

ニユー番組作りの現場から
③「小見出し」
課題
さつえい・編集・放送用原稿の工夫について読み取ろう。
・さつえいの工夫 目で見えてわかる
・編集の工夫 六時間分のテープを八分間分に
・放送用原稿の工夫 初めに結論、理由を後から述べる
要約・感想

< 6 年生 >

平和のとりでを築く
③「小見出し」
課題
原爆ドームが世界遺産になるまでの動きに対する筆者の感じたことを読み取ろう。
広島で市民中心の活動
「原爆ドームを世界遺産に」
全国へと広がる
* 筆者の思い
世界に認められるか不安
決定の知らせ
世界の人々の平和への思いを感じた
要約・感想